

事業概要シート

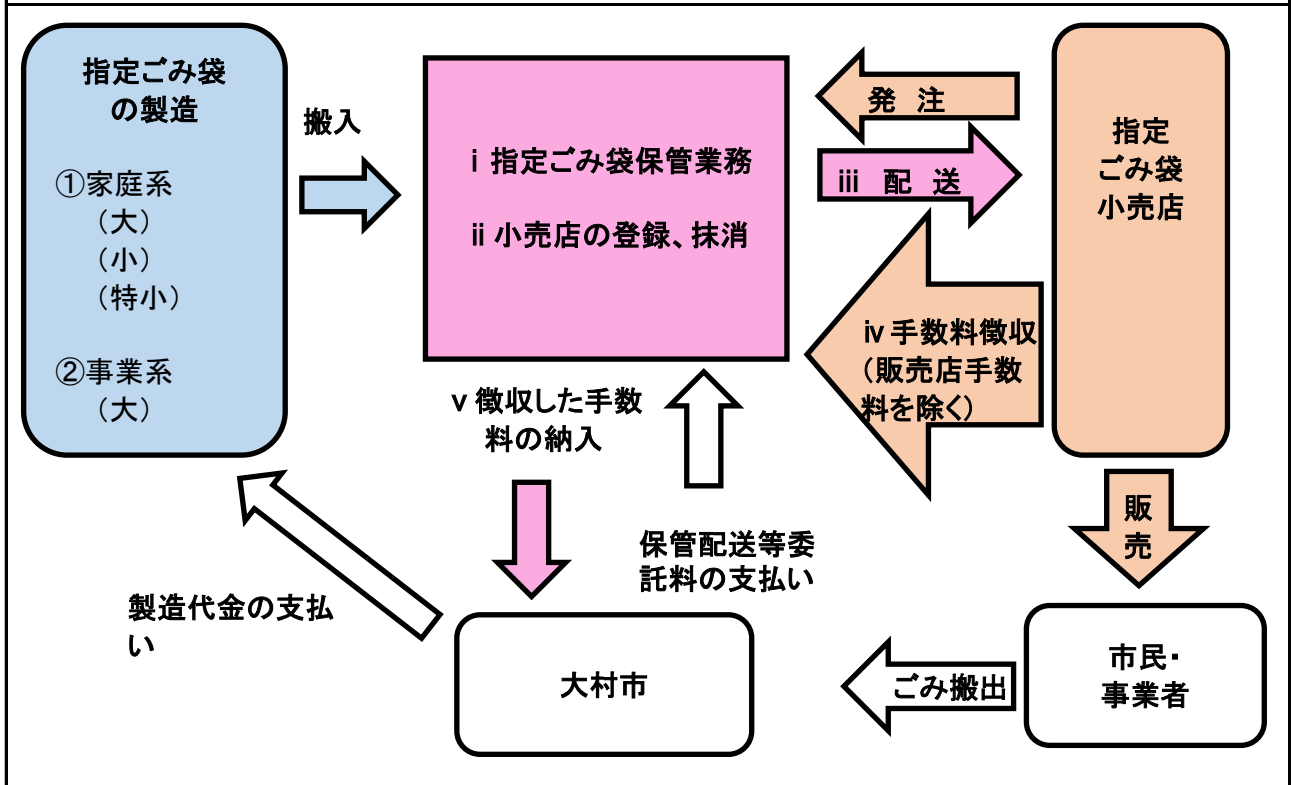
施策： ごみの減量化と適正処理の推進

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 指定ごみ袋制度推進事業	現状維持	予算額	51,794 千円	
			《 50,347 》	
		財源内訳	国庫支出金	千円
			県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	51,794 千円
			一般財源	0 千円

【事業の目的・概要・対象】

指定ごみ袋の製造、倉庫での保管、小売店への配送及びごみ処理手数料の徴収、小売店での販売を委託することにより、市民及び事業者へ指定ごみ袋を安定的に供給する。



【背景】

指定ごみ袋制度によって、排出者が排出量に応じた費用を負担することによる公平化を図り、ごみ分別の徹底によるごみの減量やリサイクルの推進に繋げ、ごみに対する発生抑制の意識を高める。

担当課	市民環境部 環境センター	問合せ先	0957-53-4100
-----	--------------	------	--------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	家庭系の燃やせるごみ搬入量 (収集量+自己搬入量) [基本計画目標値]	目標値 t	14,071 (15,801)	13,866	13,647		
②		目標値					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	1世帯当たり可燃物ごみ量(搬入量) (家庭系の燃やせるごみ搬入量÷世帯数)	目標値 kg	381 (430)	429	424		
②		目標値					

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費	44,012	47,067	44,503	50,347	51,794	51,794	289,517
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	44,012	47,067	44,503	50,347	51,794	51,794	289,517
一般財源							0
人件費	1,134	1,058	1,091	1,091	1,091	1,091	6,556
職員	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.90人
時間外勤務							0h
嘱託員							0.00人
フルコスト	45,146	48,125	45,594	51,438	52,885	52,885	296,073

妥当性 (市の関与)	排出者責任の徹底、ごみ減量化の意識の向上及びごみを多量に排出する者と少量しか排出しない者との負担の公平化からも妥当である。 ごみ処理は市に義務付けられている。
有効性 (施策貢献度)	市民の分別排出の協力により、一世帯当たりのごみ排出量はほぼ横ばいである。 ごみ処理手数料として収入している歳入予算を、リサイクルに関する歳出予算等に充当しており効果は高い。
効率性 (コスト)	指定ごみ袋の製造は入札により発注している。 指定袋の代金については、現時点では見直しの予定なし。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり